

中村

発行所 中村会（愛知県立中村高等学校同窓会）

中村プロジェクト

絆

中村未来塾

三者の力を合わせて

会長 萩原 義昭



10回生の萩原義昭と申します。会長となって4年目となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

同窓会は会員相互の親睦が大きな目的のひとつですが、中村高校・PTA・同窓会の三者が力を合わせて母校の発展を支えていくことも、大きな仕事であると考えています。会員皆様のご協力をお願いします。

今年度の活動の中では、PTAとの共催で行われる「中村未来塾」に堀田あけみさん（28回生）をお呼びし、20名近くが集まる大盛況の中、講演会を開催することができました。また「中村プロジェクト」では、そば打ち体験をはじめ、若い人たちならではのユニークな企画がたてられています。同窓会活動の活性化に寄与していただきました。若い人との「絆」をつむぐこと、会員の縦のつながりをコーディネートすることが同窓会の大きな使命であるのです。夏に行っている総会はおかげさまで毎年盛況に行われていますが、このような活動の積み重ね、会員会友のご尽力の積み重ねが、我が同窓会の活力となります。より一層多くの方の参加をお待ちしております。

今後とも母校の発展と同窓会のみなさんの健康を祈念し、ごあいさつとさせていただきます。

中村会との固い絆に感謝

校長 三宅 正夫



平成17年度より第16代目校長を拝命しております三宅正夫と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

同窓会創立50周年を記念して立ち上げていただきました国際交流事業は、着実に本校の看板事業に成長しつつあります。昨年5名の生徒を派遣したオーストラリアのメントン女子セカンダリーカレッジからは、本年7月初めに11名の生徒と2名の先生をお招きしました。1週間の滞在中、本校生徒の家庭でのホームステイと授業及び国際交流イベントを体験してもらいました。8月には昨年を上回る43名の生徒が参加してアメリカン・サマーキャンプも実施しました。一方、土曜教養講座「中村未来塾」では堀田あけみ先生をお招きし、有意義なお話を伺うことができ、好評を博すことができました。

私達教職員の使命は、本校の伝統である「自学・自律・実践」の精神を培っていくための教育活動に全身全霊を捧げることだと思っています。縁あって中村会という絆で結ばれた同窓会の皆様、今後ともわが愛する中村高校のためにご支援ご協力をお願い申し上げます。

“袖振り合うも他生の縁

～ Even a chance meeting is decreed by destiny. ～”

52回総会・講演会・懇親会

平成19年8月19日(日) 於：ルブラ王山

【総会】



萩原義昭会長「ますますの活性化を！」

【講演会】



講演に聞き入る会員のみなさん

「子どもは社会の宝物」



講師 名古屋市教育委員会 委員 **神谷龍彦さん** (7回生)

教育委員会とは、教育の施策を決定するところです。現在、わたしを含め、名古屋市教育委員会には6名の教育委員がいます。

さて、科学技術の進歩により、わたしたちの生活が豊かになりました。その反面、様々な問題が起き、日本の将来を危ぐする状況にあります。

将来とも、豊かな日本になるためには、将来を担う子どもたちが健全に育つことが重要です。そのもととなるのが子育てです。「子育て」とは、子どもを自立させることです。そのためには、愛情をもち、厳しく子育てすることが、今求められています。また、子どもは親の所有物ではありません。「社会の宝物」として、地域で大切に子育てすることを忘れてはなりません。

最後に、子どもたちが自分だけでなく、自分以外の人のことも大切にすることを願っています。瀬戸内寂聴さんの童話「月のうさぎ」を紹介しておきます。

【講師紹介】

昭和37年3月中村高校を卒業し、愛知学芸大学に進学。卒業後、市内の小学校に赴任し、その後、県教育委員会指導主事や市教育センター研修部長、富士中学校長等を歴任し、名古屋市立小中学校長会長に就任。文部科学大臣表彰を受け、退職。退職後も、数々の要職を歴任し、昨年10月以来現職に。

(まとめ 15回生 吉川欣一)

講演会感想

教育の基本は「子育て」であり、①両親と②家族親戚と③地域とで連携する教育の重要性について、再認識させられる貴重なお話をお聞きすることができました。

講演で紹介された『月のうさぎ』の話で、滅私奉公の心について語られていたのが特に印象的でした。私も含め現在の世論は、滅私奉公の心について軽視してはいないでしょうか？ 教育する側も教育される側も、思いやりの心を持って臨みたいものです。親と子の殺人事件、いじめ自殺事件等、根底に教育が関係する事件が多すぎます。

私自身来年に結婚しますが、子供を授かった時には思いやりの心を持って、教育の基本である「子育て」に邁進したいと思います。

(41回生 有馬健司)

【懇親会】



世代を越えての交流

懇親会に参加して

2年ぶりに中村会の集まりに参加しました。

懇親会ではビンゴ大会が大盛り上がり。「英気の泉」基金への寄付の額に応じてビンゴカードがもらえるのですが、「枚数が多ければ当たる確率も高いだろう」とちょっと多めにカードをゲット。でもそれからが大変！ 枚数が多すぎてカードの穴をあけるのに苦勞し、しかも全然ビンゴになる気配もなし……作戦は失敗しましたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。

(47回生 古木啓介)

来年度は、平成20年8月17日(日)にルブラ王山で行ないます。
ご予約ください。

中村プロジェクト

中村プロジェクトは44回生以降の若手同窓生で行事などを企画・運営している活動している集まりです。この活動は、中村高校創立50周年行事の準備などに携わった若手メンバーや、同窓会役員の一部で、今後も活動を続けて同窓会役員会への足がかりとなれるようにしたいという話をしたことが始まりです。

中村高校に貢献しようということで今までに以下のような活動をしました。

1. 中村高校の清掃活動とカレーを食べる会

平成18年6月4日(日) 中村高校

いくつかのグループにわかれて校内を掃除し、その後調理室でカレーを食べて様々な世代の同窓生と交流を深めました。

2. 「仕事って何？」セミナー

平成19年3月21日(祝) 中村高校

普通のイベント以外でも真面目なこともしてみようということで、セミナーを行いました。若い人や大先輩方と仕事の意義やイメージなどを話して、自分の大学での専攻の魅力や仕事に対するモチベーションを再認識できるいい機会となりました。

3. 9回生の中村先輩とのそばうち体験

平成19年6月10日(日) 中村高校

そばをこねるところからゆでるところまで一人ずつ自分の食べる分を作って食べました。それぞれ作ったそばの太さや硬さが違って、参加者みんな楽しめたと思います。

このようなイベントの合間にもバドミントンを行ったりもしています。今後もスポーツ大会など、様々な活動を企画したりして、活動の輪をどんどん広げていきたいと思っています。しかし、まだ始まったばかりの活動でイベントの企画、運営に当たっての参加協力してくれる人の確保や広報活動が現在課題になっています。興味をもった方、一緒に企画などをしてみたいと思った人は是非連絡ください。よろしくお祈りします。

中村プロジェクトのメールアドレス nakamura_pj@yahoo.co.jp

(45回生 祖父江隆)



国際交流活動報告

1 メントン女子セカンダリーカレッジ (MGSC) より11人の女子生徒来日

昨夏、オーストラリア・ビクトリア州と愛知県との友好提携25周年記念事業として、本校から5人の生徒がMGSCを訪問しました。今夏は逆に11人の元気なオーストラリア人の女子高生が来日して、7月3日から1週間、中村高生宅にホームステイして授業に参加し、またオーストラリアの文化を紹介し、そして日本の文化に触れました。



【ホスト生徒の感想】

- ・来たのはうれしかったが、何を話してよいかわからず大変だった。しかしハートがあれば通じる。
- ・遊びに連れて行ったときに、カラオケ・プリクラはオーストラリアにはないようで、大変珍しがられた。
- ・食文化が大変違う。日本食があまり口に合わず、つらそうだった。しかしおみやげにもらったオーストラリアのベジマイトはおいしかった。

【MGSC 生徒の感想】 (和訳)

- ・よく準備されており、素晴らしい。皆がとても親切にしてくれた。
- ・日本人や日本の生活についてよく理解することができた。
- ・日本語の会話能力を高めることができた。
- ・学校でもホストファミリーの家でも楽しむことができた。

2 アメリカン・サマー・キャンプ、木曽福島で今年も。

昨年からはまった英語だけを使う2泊3日の宿泊プログラムです。アメリカ人高校生・大学生がスタッフとして指導にあたり、英語を使った様々なコミュニケーションに取り組みました。年齢の近いアメリカ人スタッフとの生活や興味溢れるコミュニケーション活動は、時の流れを忘れさせ、知らず知らずのうちに英語やアメリカ人スタッフを身近な存在と感ずるようになりました。日程の概要を記します。



- 1日目 朝学校発、昼に民宿着。自己紹介、スポーツリクリエーション
- 2日目 ハイキング、日米意見交換会、キャンプファイヤー、ダンスパーティー
- 3日目 「Eigokai」みんなで3日間の活動の発表会、昼食後帰校。

【参加生徒の感想】

- ・言いたいことがあるのにことばにできないのはもどかしかったです。
- ・ことばが通じるか分からず不安だったけど、辛抱強く聞いてくれた。
- ・最初は英語が全く聞き取れなかったけど、3日間のうちにだいたい聞き取れるようになった。もっと英語を勉強したいと思った。
- ・最初はスタッフのテンションの高さについていけなかったが、だんだん楽しくなってきたので元気を分けてもらった。

部活動紹介

■弓道部 古豪復活

3年生が引退する春の総体予選で、「男女共に」団体で県大会に出場することができました。それが決まった瞬間、部員全員が感動の涙を流して喜びをかみしめました。県大会では満足のいく結果を残せず、悔しい思いをしましたが、今後の練習で心身を鍛えたいと思います。みなさんの応援が県常時出場校の力となります、よろしくお願いします。



■バスケットボール部 (男子) 厳しい練習で県へ

昨年冬、新人戦で県大会へ出場することができたのは、もの凄く激しい練習と近藤先生との信頼関係との賜物です。昨年秋のウィンターカップではぎりぎり県に届きませんでした。その悔しさを糧に新人戦では地区5位で県大会に出場できました。先生と僕たちが一緒につかんだ県大会への切符でした。指導していただいた2年間は絶対に忘れられません、本当に先生ありがとう。



職員の人事異動

今年4月の異動は次のとおりです。(敬称略)

【ご退職】

入江 国明 (国 語) 15年間	天白高校で再任用
天木 悟 (保健体育) 8年間	
荒川 邦彦 (国 語) 8年間	
芦田 健一 (英 語) 1年間	
小川 強 (英 語) 1年間	

【ご転出】

織部 秀明 (英 語) 4年間	明和高校教頭へ
柴崎 伸枝 (音 楽) 10年間	春日井東高校へ
松崎 隆 (生 物) 10年間	名古屋西高校へ
松井 宏 (化 学) 9年間	松蔭高校へ
小川 貴義 (英 語) 7年間	西春高校へ
鈴木 幸則 (数 学) 7年間	津島高校へ
加藤 邦彰 (保健体育) 7年間	津島北高校へ
山中満喜子 (英 語) 6年間	美和高校へ
加藤 善久 (世界史) 6年間	惟信高校へ
井藤 三継 (数 学) 4年間	大府高校へ
丹羽 広子 (実習助手) 12年間	中川商業高校へ
山田 好雄 (事務長) 6年間	惟信高校へ
蒲生美恵子 (主 任) 7年間	松蔭高校へ

第4回 発掘の現場から 平成18年10月21日 中村高校 伊藤伸幸氏 (26回生)



参加者はおよそ60人。会議室いっぱいの人、前の方は現役高校生、後ろの方は保護者や同窓生、中村高校職員であった。

名古屋大学を受かりながらも自らの生き方をはっきりさせる上で再度名古屋大学文学部史学科（考古学専攻）を受け、みごと合格。自分の夢を語る伊藤先生の目はキラキラ輝いていた。

メキシコに住みたい。中南米の移籍をめぐり、現在はエルサドバドルの「オルメカ文化」を調べている。古代文明のアステカ文化がキリスト教国のスペインに征服されていく過程は「弱肉強食」を見る思いだ。「土の中にある深い世界」～古代人が現代に語りかけるもの～考古学の果たす役割がわかる瞬間だ！

(17回生 川合富雄)

第5回 継続は力なり 平成19年2月3日 中村高校 若山三郎氏 (26回生)

今回の講師は、わかやま整形外科院長の若山三郎氏（26回生）で、演題は「リハビリテーションに求められるものー整形外科の現場からー」でした。



波瀾万丈の人生を送ってこられた先生が、最後に現役高校生に向けて、大脳生理学を根拠とした効果的な記憶術と、婦人科学を基にした学校では教えてくれない性教育の話をしてくださいました。また出席してくださったPTAや同窓会の方々に向けた美容、禁煙、ダイエットのお話も「あるある……」とは違い、実体験に基づいた貴重なものでした。

若山先生の講演を聴き、医者という仕事の厳しさを改めて知るとともに、「継続は力なり」、「勉強は何歳になってもできる」、「何ごとも楽しみながらやらなければ続かない」、思い立ったが吉日、すぐ行動に移すべし」とおっしゃった先生の教を、是非中村高校生も肝に銘じてもらいたいと感じました。

(28回生 尾関達哉)

第6回 幸せになる力 平成19年6月16日 ウィルあいち 堀田あけみ氏 (28回生)



今の自分を幸せだと思う

「1980 アイコ16歳」で文藝賞を受賞された28回生の堀田あけみさんに「幸せになる力」というテーマでお話を伺いました。

今の自分を幸せだと思う気持ち、10こ植えた球根から2こ花が咲いたことを残念に思うのではなく、8この花が咲いたことを素直に喜ぶことが大切だと教えていただきました。不満があるから、今を不幸と思わず、自分の中にある幸福になる力を見逃すことのないようにしたいと思います。

(17回生 仙波孝子)

平成18年度 中村会決算報告

収入の部 (単位: 円)			
科目	予算	執行額	差額
前年度繰越金	2,625,486	2,625,486	0
入会金	1,400,000	1,376,000	△24,000
寄付金	—	—	0
雑収入	4,514	14,847	10,333
計	4,030,000	4,016,333	△13,667
支出の部 (単位: 円)			
科目	予算	執行額	差額
事業費	200,000	91,474	108,526
HP運営費	200,000	140,779	59,221
通信費	700,000	583,037	116,963
会報費	300,000	249,900	50,100
会議費	30,000	4,734	25,266
諸雑費	50,000	31,949	18,051
慶弔費	50,000	35,000	15,000
名簿管理費	150,000	165,526	△15,526
予備費	100,000	—	100,000
繰越金	2,250,000	—	2,250,000
計	4,030,000	1,302,399	2,727,601
残高の部 (単位: 円)			
収入済額	4,016,333	支出済額	1,302,399
		残高	2,713,934

平成19年度 中村会予算案

収入の部 (単位: 円)		
科目	予算	備考
前年度繰越金	2,713,934	
入会金	1,224,000	306×@4,000
寄付金	—	
雑収入	2,066	
計	3,940,000	
支出の部 (単位: 円)		
科目	予算	備考
事業費	100,000	中村プロジェクト
HP運営費	200,000	プロバイダー料金
通信費	700,000	総会案内・会報発送
会報費	250,000	第5号作成
総会施設費	100,000	
名簿管理費	150,000	
諸雑費	20,000	
慶弔費	35,000	
会議費	20,000	役員会・部会
予備費	100,000	
周年事業積立金	300,000	
繰越金	1,965,000	
計	3,940,000	

会計監査 松本 良平 ㊟
会計監査 杉本みち子 ㊟